横浜市立みなと赤十字病院
日本赤十字社

医療連携センターだより No.46

みなとからの風

〒231-8682 横浜市中区新山下3-12-1／TEL 045-628-6100(代)
http://www.yokohama.jrc.or.jp/

●発行：2022 年 5 月　医療連携センター

Contents　P1　●心臓病センターの診療体制

心臓病センターの診療体制

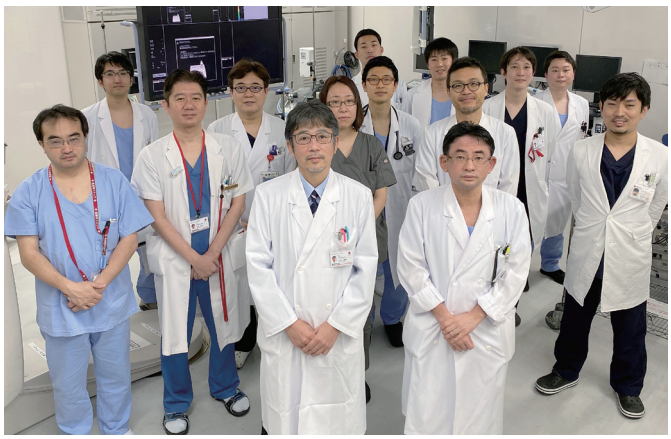
循環器内科部長　山内康照

循環器内科は現在、虚血班 4 名、不整脈班 5 名、心エコー班 2 名、循環器専攻医 4 名の計 15 名で 24 時間診療体制をとっております。高齢化社会に伴い心不全患者は増加の一途をたどり、心不全パンデミックと言う言葉を昨今よく耳にします。

心不全の原因には、虚血性心疾患や心房細動等が深く関与していることが多い訳ですが、近年では大動脈弁狭窄症や僧帽弁閉鎖不全症などの心臓弁膜症を原因とする症例も増えてきています。重症心臓弁膜症の治療に関しては、以前は心臓外科手術しかなかった訳ですが、近年では高齢者や合併疾患を持っている患者さんに対しては、経カテーテル大動脈弁置換術 (TAVI) や経皮的僧帽弁クリップ術 (MitraClip) などの新しいカテーテル治療が可能となってきました。

当院でも TAVI を 2019 年より開始し、60 例以上行っていますが現在のところ重篤な合併症は 1 例もなく安全に治療ができております。また今年 4 月からは重症僧帽弁閉鎖不全に対する MitraClip 治療も開始する予定です。当院の心臓病センターでは、心臓外科医 5 名と循環器内科医が合同カンファレンスを毎週行い、心エコー専門医を交えて治療の適応や方法等について検討しています。また昨年より心房細動に伴う心原性脳梗塞予防のための経皮的左心耳閉鎖術 (Watchman 植え込み) も開始しています。これらの新しい治療を的確かつ安全に行うためには、心エコー専門医の確かな目が必要であり、現在 2 名の心エコー専門医が活躍中です。心房細動アブレーション治療においては、クライオバルーンアブレーションや化学的アブレーションの症例数は日本で一番多く経験しており、新しい治療方法も考案し、その方法は Minato style として徐々に全国的に普及しつつあります。虚血性心疾患においても、複雑病変に対する高度なインターベンション治療も行っています。

日常診療におきましては、循環器ハートライン（045-628-6867）を設置し、夜間のみならず日中におきましても、いつでも対応できる診療体制をとっておりますので、ちょっとお困りの患者様がいらっしゃいましたら、気兼ねなくご相談していただけましたら幸いです。また紹介状をお持ちの患者様におきましては、予約がない場合でも 11 時までに病院に来ていただけましたら当日診療できるような体制をとっております。地域の先生方との連携を大切にし、患者さんに十分満足していただけるような丁寧な説明や高度医療を提供できるように心掛け、患者さんや紹介元の先生のご要望に沿えるよう循環器内科スタッフ一同、努力して参りたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



循環器内科医師一同

紹介患者さんのお問い合わせ・ご予約は医療連携課で承ります

電話 045-628-6365（直通）／FAX 045-628-6367（直通）　受付時間　平日　8:30～17:00

日本赤十字社

横浜市立みなと赤十字病院

〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3丁目12番1号
TEL:045-628-6100（代表） FAX:045-628-6101

http://www.yokohama.jrc.or.jp/

みなと赤十字　検索

病院ホームページ